

#### 4 伊勢物語

⑦【五八段】むかし心つきて色好みなるおとこ、長岡といふ所に家つくりて居りけり

⑧【八四段】むかしおとこありけり。身はいやしなながら母なん官なりける。その母長岡といふ所に住みけり

#### 5 古今和歌集【巻一七】

⑨ なりひら朝臣のはゝのみこ(伊都内親王・桓武皇女、ながをかに住み侍りける時に、なりひら宮づかえすとて、時々もえまかりとぶらわず侍りければ、しはす許に、はゝのみこのもとより、とみの事とて、ふみをもてまうできたり、あけてみればことばはなくて、ありけるうた  
おいぬればさらぬわかれもありといへば、いよいよみまほしき君かな

#### 6 綿考輯録 細川家文書

⑩ この度城州の内桂川を限り西地残らず御領地になる所、長岡の旧都にて城州の名所歌枕の地なる故、称号を長岡と御改めなられ候

#### 7 エヴォラ屏風文書 ポルトガルエヴォラ図書館・リスボン図書館

⑪ ながおかのきやうより今のたいらのきや□□うつされ候へハ洛中同然

#### 8 八条宮智仁親王古今伝受誓状 桂宮家伝来古今伝授資料

⑫ 古今集伝受の説々、更にもつて聊爾あるべからざるの儀、此の旨私曲候えは両神(住吉・玉津島)・天神(北野)の冥助に背くべきもの也、よつて誓状件の如し

慶長五年三月十九日 (智仁親王花押)

長岡幽齋

#### 9 「桂宮日記」安政六年八月二十日条 意識

⑬ 細川玄旨泰勝院幽齋二百五十回忌、今日正に当たる。桂園林堂に御先代より納められている幽齋の画像に供物を献じるため、諸大夫が代拝した。(中略)長岡天満宮連歌所西の弁財天御堂に幽齋を祀り、長岡の社と申してきたが、幽齋の二百五十回忌は、古今(和歌集)相伝の家にとつては格別のことなので、当年より長岡大明神と号して祀ることにした。

同 明治四年二月十九日条

⑭ 御領所すべて上げ地となり、長岡天満宮社地も同様。末社長岡大明神は往古より細川幽齋を勧請。細川藩は由緒深い縁なので、「由緒ある建物」とともに、そこに預けるよう申し入れる。

同 明治四年十月二十日条

⑮ 熊本藩邸(京都仏光寺通り壬生川)へ長岡大明神社を引き移したけれど、藩邸が取り払いになったので、桂宮邸に引き移す。

#### 10 京都府庁文書 京都府立京都学歴彩館

⑯ 町村合併について案の一 (中略) 理由書

管下乙訓郡新神足村、海印寺村及び乙訓村を廃し、その区域をもつて長岡町を置き、昭和二十四年十月一日から施行。夫々関係各村会の議決に基き、昭和二十四年七月十五日をもつて三村長の上申請があつたので調査したところ、右三村は、交通関係、教育関係、水利耕地関係等においてつとに密接不離の關係にあり、殊に新神足村及び乙訓村は、最近工場地帯としていちじるしく發展してきたのと、一面小村の分立は財政的に行き詰まりを生じて来たので、今回利害共通する三村を合併して人口一万余の基礎強固な自治体を形成し、その名称もこの際心気を新たにすため、往昔長岡京のあつたゆかりにちなみ、長岡町と称して今後大いに町的施設を完備し、将来一層の發展を期そうというのであつて(後略)